

第 63 回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越支部 幹事会議事録

日 時：2024 年 5 月 11 日（土）10：20～11：00

会 場：大手町サンケイプラザ 2 階（201+2）

出席者：上妻 謙（支部長）

《敬称略》

阿古潤哉、安倍七郎、安齋 均、石井秀樹、小川崇之、小林欣夫、菅野晃靖、高橋
佐枝子、田中信大、宮下裕介、武藤 誠、矢嶋純二、足利貴志、森田有紀子
吉町文暢(第 64 回会長)、佐藤 明(第 65 回会長)、緒方信彦（第 66 回会長）、武
安法之（第 65 回会長）

田島修、村澤孝秀（メディカルスタッフ部会）

名誉会員：本江純子

【以上 22 名】

議 題：1) 第 63 回地方会会長挨拶

会長の佐藤明先生（山梨大学医学部附属病院 循環器内科）より、演題数、現時
点での参加者などの報告があった。

2) 新運営委員ならびに現運営委員の異動報告

【報告】

- ①浅野 拓 聖路加国際病院循環器内科
- ②野口 将彦 東京ベイ・浦安市川医療センター循環器内科
- ③白崎 圭輔 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科
- ④土井尻 達紀 大和成和病院循環器内科
- ⑤櫻井 馨 新百合ヶ丘総合病院循環器内科
- ⑥三浦 瑞樹 東京大学医学部附属病院循環器内科
- ⑦山崎 博之 佼成病院循環器内科
- ⑧福田 直人 さがみ林間病院循環器内科

この後行われる運営委員会にて出席を確認し正式に承認となる。

御手洗敬信先生は九州への異動につき関東甲信越支部の運営委員は辞任となっ
た。出席ができない松野俊介先生、田中茂博先生は次回に正式の承認とすること
になった。

以下の先生方は本人からの連絡で諸事情により辞任となった。

渋井敬志、中野明彦、平島修、松井朗裕、宮本明、我妻 賢司

運営委員会連続欠席者はこの後行われる運営委員会にて出席を確認する。事前に、
塚田俊一先生は次回出席予定、長坂崇司先生は休会中、渋井敬志先生については
辞任の連絡があった。

3) 第 64 回地方会（2024/10/11・12）について

【報告】

会長の緒方信彦先生（上尾中央総合病院）より上記日程で開催すべく準備を進め
ている旨の報告がなされた。

4) 第 65 回地方会（2025/5/10）について

【報告】

会長の武安法之先生（茨城県立中央病院）より上記日程で開催すべく準備を進
めている旨の報告がなされた。

5) 第 66 回地方会（2025 秋）

【報告】

会長の伊藤良明先生に代わって支部長よりご報告がなされた。

第 67 回（2026 春）の会長は藤本善英先生（国際医療福祉大学成田病院）に
決定しており、第 68 回（2026 秋）会長を新家俊郎先生（昭和大学）が選出
された。

6) 第 62 回地方会（2023/10/13・14）会計等報告

【報告】

第 62 回地方会について会長の吉町文暢先生（東海大学医学部付属八王子病院
循環器内科）より、会計の報告がなされた。

7) 2023 年度会計報告と 2024 年度予算案について

【承認】

2023 年度会計について上妻支部長より説明がなされ、審議の結果異議無く承認された。

2024 年度予算について上妻支部長より説明がなされ、審議の結果異議無く承認された。

8) 運営委員推薦について

【承認】

- | | |
|---------|----------------------|
| ①高見澤 格 | 公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 |
| ②吉岡 賢二 | 安房地域医療センター |
| ③穴戸 晃基 | 湘南鎌倉総合病院心臓センター |
| ④高木 友誠 | 総合高津中央病院 |
| ⑤飛田 一樹 | 湘南鎌倉総合病院 |
| ⑥山口 徹雄 | 虎の門病院 |
| ⑦宮地 秀樹 | 日本医科大学付属病院 |
| ⑧鶴巻 良允 | 埼玉メディカルセンター |
| ⑨黒木 識敬 | 東京都立墨東病院 |
| ⑩吉田 律 | 東京慈恵会医科大学附属第三病院 |
| ⑪小宮山 英徳 | 埼玉医科大学国際医療センター |
| ⑫土屋 寛子 | 群馬県済生会前橋病院 |
| ⑬増田 新一郎 | 医療法人社団愛友会上尾中央総合病院 |

以上の先生方が推薦され、全員承認された。

次回開催の運営委員会へお招きし、出席いただいて正式に就任となる。

9) 運営委員退任について

【承認】

本部と同様運営委員に 65 歳定年を求めることについて、審議の結果異議無く承認された。該当者 10 名に意思を諮ることになった。

10) メディカルスタッフ部会報告

【報告】

昨年度開催された第 9 回茨城カテーテル治療コメディカルフロンティア研究会、第 6 回千葉メディカルスタッフ研究会、第 16 回栃木県カテーテル室スタッフ研究会について支部長より報告がなされた。

田島部会長より、10 月に村澤孝秀氏に部会長が交代になること報告がなされ、村澤氏よりご挨拶がされた。

11) 本部からの報告

【報告】

- 支部会計において 6500 万円の赤字があり、関東甲信越支部からは 490 万円を負担したことが報告された。
- 「医師の働き方改革」にともない、厚生労働省からカテーテル室にメディカルスタッフが入ることについて、看護師、放射線技師が補助をしても良いと周知されたことで、現在診療介助を行っている臨床工学技士、臨床検査技師が入ってはいけないように思われてしまっていた。これを受け、臨床工学技士、臨床検査技師も明文化してもらうよう要望書を提出した。その要望書が曲解され、この 2 職種ではカテーテル室に入れないといった情報が流れたため、臨床工学技士が IVUS の計測などを今後行えない、行わないといった声もあったと聞き及んでいる。メディカルスタッフからそのような質問があった場合には、今までの診療を追認してもらうための通知が発出されるだけなので、従来通りの診療を行って頂きたいと伝えるように要請があった。要望書については厚生労働省から近日中に承認が下りる予定である。
- 専門医審査委員会委員長の石井先生より、4月 21 日に専門医筆記試験終了し、151 名受験申請したこと、2 名が欠席したことが報告された。試験監督や問題作成など運営委員の先生方にご協力頂いたことに対し謝意が述べられた。今後インターベンション必携が、5 年間改定がなかったため第 2 版を作成の予定である。先生方に依頼が行くかもしれないがその節はお引き受けいただきたく、ご協力いただきたい旨報告があった。
- 研修医、学生に対し、地方会参加費を無料にして若い医師に参加してもらい、この分野に入る医師を増やしたい。初期研修医、学生無料とするよう、本部で

もそういう規定を作る方向性で進めている。

- J-EVT のレジストリを血管外科と共有化に向けて、データベースの統合化の作業を行っている。どちらもうまくデータを利用、集計ができるようになっている。
- 保険委員会委員長の阿古先生より FFRCT を導入した施設が増えたことが報告された。

12) その他

- 本江純子先生より、名誉会員の上松瀬先生がご逝去されたことが報告された。運営委員会で黙禱を行う。

以上